allcinema

ジャンダラ（2001）

JAN DARA

メディア 映画
ジャンル ロマンス　エロティック
製作国 タイ
色彩 Color
時間 113分
初公開日 2003/05/31
公開情報 ギャガ・コミュニケーションズ
映倫 R-18

【キャッチコピー】
最初の記憶を、覚えていますか。

タイ王国最大のタブー、
解禁。

【解説】
　大胆な性描写がタイ本国で物議を醸した官能文芸大作。父に疎まれ続けた息子が、やがて嫌悪する父と同じように情欲の世界に溺れていく様を妖しく描く。原作は1964年の発表以来読み継がれているベストセラー小説『ジャンダラの物語』。監督は「ナンナーク」のノンスィー・ニミブット。
　1930年代のバンコク。ジャンダラの母は、彼を産んだ際に命を落としてしまう。以来、父クンルワンはジャンダラを、妻の命を奪った“呪われし子”と名付けて蔑み、使用人以下の存在として扱う。一方で、裕福な年金生活でハーレムをつくり、女たちを愛のない絶対的な権力で押さえつけていた。ジャンダラが唯一甘えられる叔母までも、父と体の関係を持っている。そしてある日、ジャンダラは自分の出生の秘密を知り、ますます父に対する憎悪が湧き上がる。それにもかかわらず、抑えきれなくなった欲情の矛先は、いつしか父の支配した官能の世界に向いていくのだった…。

【クレジット】

監督	ノンスィー・ニミブット	Nonzee Nimibutr	
製作	ノンスィー・ニミブット	Nonzee Nimibutr	
	ドゥアンガモル・リムチャルーン		
製作総指揮	ピーター・チャン	Peter Chan	
原作	ウッサナ・フェレンサン		
脚本	ノンスィー・ニミブット	Nonzee Nimibutr	
撮影	ナタウット・キッティクン	Nattawut Kittikhun	
出演	エスカラット・サルスク		ジャンダラ
	クリスティ・チュン	Christy Chung	クンビー
	パタラワリン・ティムクン	Patharawarin Timkul	ゲーオ
	サンティスック・プロムシリ		クンルワン
	ウィパワウィー・チャルンプラ		ワート
	スウィニット・パンジャマワット	Suwinit Panjamawat	15歳のジャンダラ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.